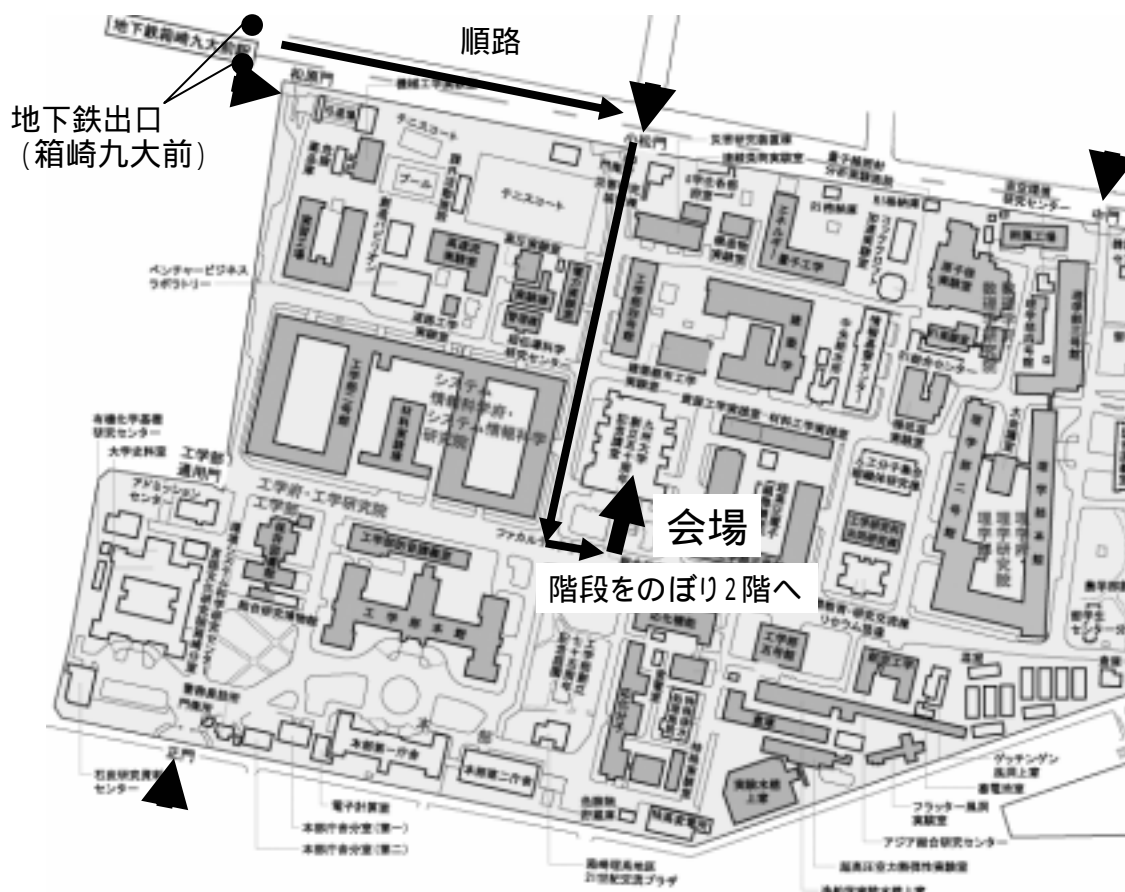


時間割			2日	2日	2日	2日	3日	3日	3日	3日
コマ			1	2	3	4	1	2	3	4
教室	席数	コード	8:50-10:50	11:00-13:00	14:00-16:00	18:00-20:00	8:50-10:50	11:00-13:00	14:00-16:00	18:00-20:00
N110	286	A	大気・海洋と生物の共進化(1)	大気・海洋と生物の共進化(2)	進化学一般(1)	中学・高校でどのように進化を教えるか?	古細菌研究から見えてくる生命初期進化の道筋・遺伝子進化と水平伝播	進化学一般(2)	非生命体の進化理論	進化論革命へ! 第2回新今西進化論とネオダ・ウィニズムの対話
N120	204	B	ゲノム比較から進化ダイナミクスへ	進化を動かす、ゲノム複製、損傷修復、変異生成	バイオインフォマティクスからのゲノム機能・進化の解析	ポストゲノムシーケンス時代の進化多様性研究	エピジェネティクスとゲノムの進化	病原細菌の適応戦略	ヒト疾患遺伝子の解析戦略	自然免疫の起源と分子進化
N130	204	C	発生進化学と進化発生学の諸問題	Eco-Devo-Evo(生態-発生-進化):進化学の新たなトレンド-	分化・死の起源	左右対称性の進化	構造ゲノミクスの時代は分子進化研究にどのようなインパクトを与えるか?	ナチュラリストリー:物集めと解析と	形態形成研究から表現型進化を考える	分子から見た生物の系統と進化
N140	204	D	昆虫社会内の「裏切り」に端を発する同所的種分化	人間行動の生物学的基礎	種分化の生態学	種形成の分子機構	生物多様性の保全と復元	森林の分子生態学	希少動物の過去・現在・未来	自殖をめぐる植物の進化
113	198	E	全生物共通の祖先(生命の起源)に対する実験的なアプローチ	適応放散の進化生態学	生物間相互作用による共進化 - 植物と微生物を中心に-	微生物における「種」とは何か	進化する系統推定法の最前線はココ!:多く・正しく・軽やかに-	昆虫の分子系統と進化	光合成の進化とゲノム	生物学的実体とその階層構造
112	110	F	進化生物学夏の学校(1)	進化生物学夏の学校(2)	進化生物学夏の学校(3)		求愛行動様式の進化:様々な種で	魚類の進化多様性理解の比較ゲノム学	Theoretical evolutionary biology	
114	159	G	パラサイト・エスケープ:病原体の進化と分子疫学	分子の進化から生理機能の進化へ:“見る”という機能の進化-	進化分子工学によるタンパク質の機能改変	MHCの分子進化	遺伝的多様性の維持機構(1)	遺伝的多様性の維持機構(2)	進化の原動力としての分子多様性獲得機構:その調節と破綻	トランスポゾンと宿主の関わり
132	50	M	形態測定学夏の学校(1)	形態測定学夏の学校(2)	形態測定学夏の学校(3)	形態測定学夏の学校(4)				

箱崎キャンパス地図(1・4日会場)

初めての方は、地下鉄3番出口から出て、地図の矢印に沿って会場におこしてください。
1番出口を出て構内に入る場合には、案内板で会場の位置をよく確かめてください。



箱崎キャンパスへの交通

博多から

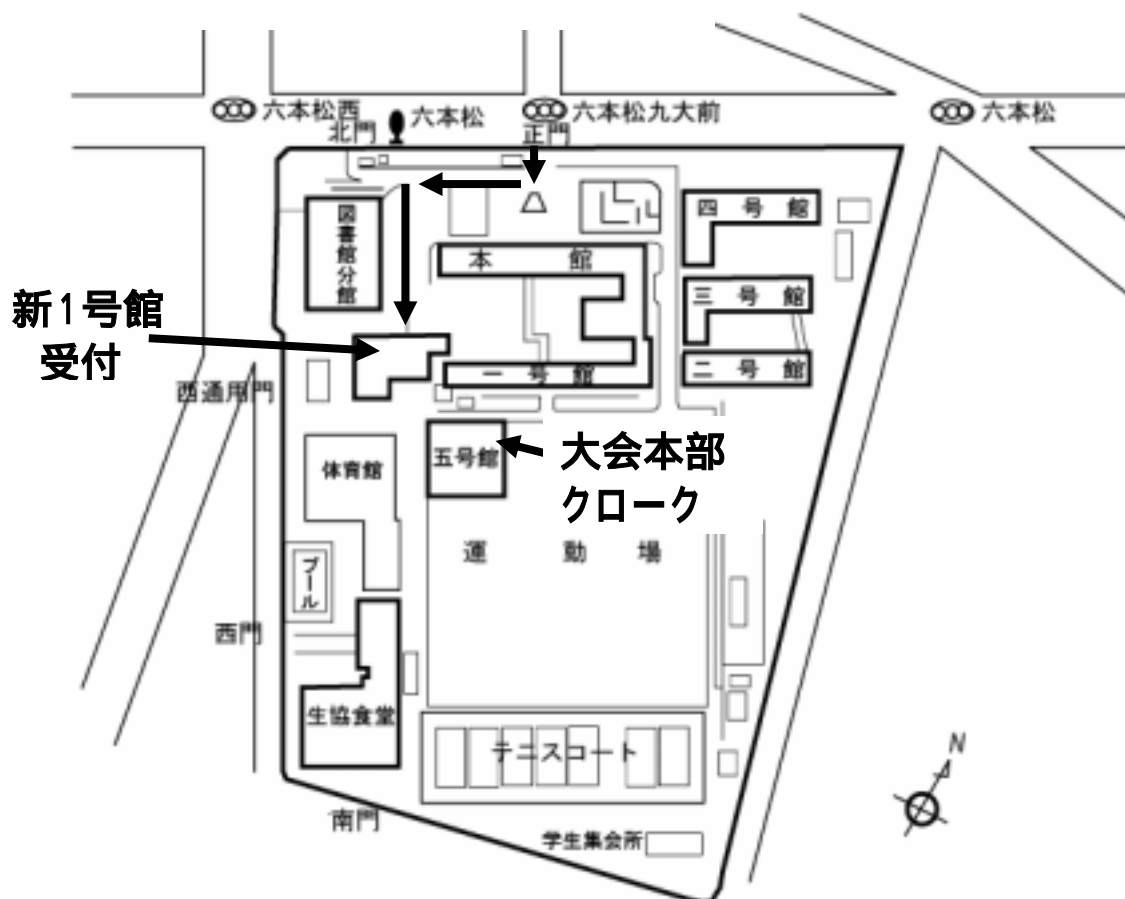
市営地下鉄にて、天神方面に乗車。中洲川端(駅2つ目)で貝塚行きに乗り換え、箱崎九大前下車。所要時間 25 分程度。

天神から

市営地下鉄にて、貝塚行きに乗り、箱崎九大前下車。または、福岡空港行きに乗り、中洲川端(天神の次の駅)で貝塚行きに乗り換え、箱崎九大前下車。所要時間 15 分程度。

六本松キャンパス地図(2・3日会場)

正門を入れてすぐに、左手に進み、下の構内地図の矢印にしたがって、新1号館におこしてください。
新1号館の1階ロビーに受付があります。



六本松キャンパスへの交通

博多から

西鉄バスにて...「博多駅交通センタービル」1Fより、国体道路経由のバス(系統番号113、114、201、204等)に乗車、「六本松」で下車(所要時間20分程度)

天神から

西鉄バスにて...「天神警固神社前」より、国体道路経由のバス(系統番号113、114、201、204等)に乗車、「六本松」で下車(所要時間10分程度)

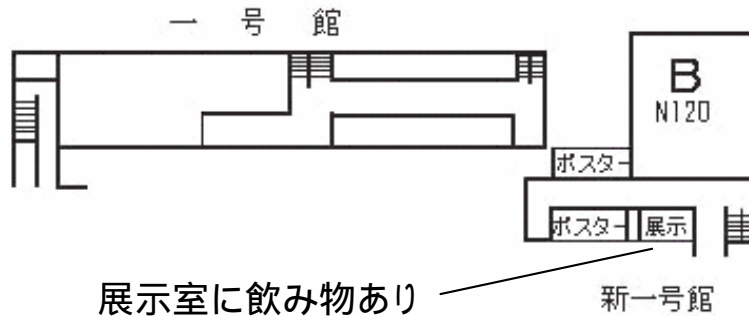
ただし、朝の時間帯は渋滞することがあります。余裕を持って会場におこしてください。

六本松(2・3日)会場見取り図

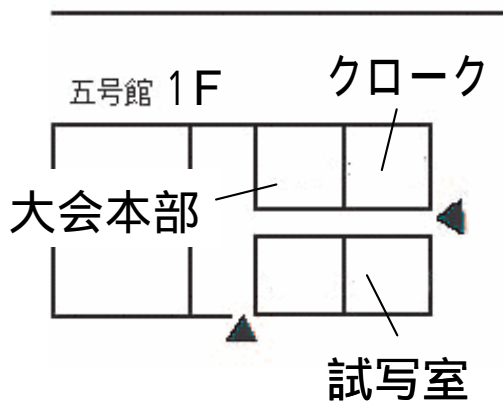
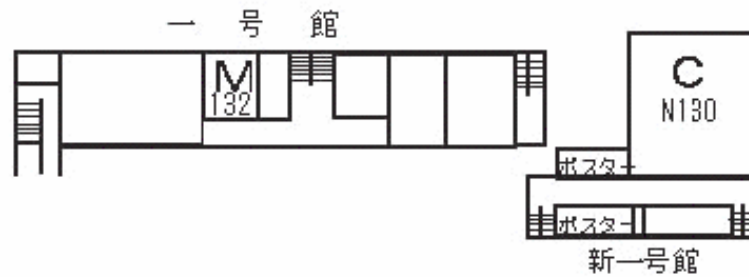
1F



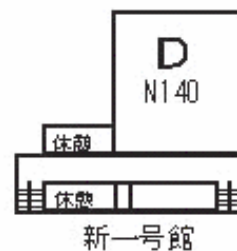
2F



3F



4F



M 会場(132 号室:形態測定学夏の学校)へは、E 会場隣の階段をのぼって3階へ(F 会場 112 号室の真上の位置にあります)。

五号館へは、一号館と新一号館の間を通過してグラウンド側へ。

連絡事項と注意

大会は、九州大学の2つのキャンパスで開かれます。8月1日および4日は箱崎キャンパス、8月2日および3日は六本松キャンパスが会場です。日によって会場となるキャンパスがちがいますのでご注意ください(両キャンパスの間の移動には昼間だと公共交通機関で1時間近くかかります)。

1. 受付

- ・8月1日と4日(箱崎キャンパス)では記念講堂2階ロビ-、8月2日と3日(六本松キャンパス)では新1号館1階で受け付けを行います。8月1日は 11:00 より開始します。8月2日は 8:20 より開始します。
- ・事前に申し込みをされた方にはここで名札・講演要旨集などをお渡しします。
- ・大会会場では必ず名札をお付けください。
- ・大会への当日参加の手続きも受け付けます。一般 6000 円、学生 3000 円です。
- ・進化学会への入会手続きも受け付けます。一般 3000 円、学生 2000 円です。
- ・進化学会会員の方には、会費納入を受け付けます。この機会にぜひ会費をお納めください。

2. 学会賞授賞式ならびに受賞講演

- ・九州大学箱崎キャンパス記念講堂で8月1日 13:00 より学会賞(木村賞)・研究奨励賞・教育啓蒙賞の授賞式が行われ、引き続き、巖佐庸九州大学教授、および岡田典弘東京工業大学大学院教授による、木村賞受賞講演が行われます。参加申し込みをしていなくても受賞講演を聞くことができます。

3. 公開講演会

- ・箱崎キャンパス記念講堂で、8月1日 14:30 より「生物多様性研究ー世界のフィールドから」と題した公開講演会を行います。この公開講演会は 日本分類学会連合との共催です。入場無料で参加申し込みも必要ありません。

4. 懇親会

- ・懇親会は、箱崎キャンパス記念講堂の1階にある九大生協中央食堂で、8月1日の 18:00 - 20:00 に行います。当日申し込みは 3000 円です。

5. 国際シンポジウム

- ・箱崎キャンパス記念講堂で8月4日 9:00 より、国際シンポジウム「実験的アプローチによる進化学」(21世紀 COE「統合生命科学」との共催企画)を行います。

6. シンポジウムとワ - クショップ

- ・シンポジウムとワ - クショップはすべて8月2日と3日に六本松キャンパスで行われます。箱崎キャンパスで行われるシンポジウムとワ - クショップはありませんのでご注意ください。

- ・会場は六本松キャンパスの1号館・新1号館の講義室です。A～D会場は新1号館の1～4階、E～G会場は1号館1階にあります。M会場は1号館3階です。
- ・企画のコードは、1文字目が開催日、2文字目が会場名、3文字目がコマをあらわします。たとえば、[2A1]は、「2日A会場1コマ目」の企画をあらわしています。
- ・各発表の時間配分はオ - ガナイザ - (企画責任者)の方々にお任せしてあります。
- ・シンポジウムとワ - クショップの発表においては、コンピュータ - 用液晶プロジェクター - 、OHP が使用可能です。
- ・各会場には、スイッチャーを配置します。1台の液晶プロジェクターにスイッチャーを介して2台のpcが接続できます。1台目のpcによる講演中に、2台目のpcの画面を、スイッチャーの液晶モニターに表示できます。次の講演者の方は、マニュアルに従って、スイッチャーの液晶モニターで映写チェックをしてください。
- ・E～G会場には、天井に液晶プロジェクター - が装着されています。15ピンの接続端子は、演台の下にあります。当日は、この接続端子をスイッチャーに接続し、講演者がスイッチャーにpcを接続すればよいように、準備しておきます。A～D会場には、液晶プロジェクター - を搬入してスイッチャーに接続しておきます。
- ・シンポジウムとワ - クショップの発表の中には、同内容のポスター - 発表があるものがあります。講演要旨集のポスター - 発表一覧でご確認ください。

7. ポスター - 発表

- ・この大会での一般発表の中心はポスター - 発表です。
- ・ポスター - 発表はすべて8月2日と3日に六本松キャンパスで行われます。箱崎キャンパスで行われるポスター - 発表はありませんのでご注意ください。
- ・ポスター - 発表の番号が、偶数の方は8月2日に、奇数の方は8月3日にポスターを掲示・発表してください。討論時間は16:00 - 18:00です。このほか、昼休みにも討論を行うことができます。
- ・ポスター発表会場は新1号館2階・3階の講義室(N122,N123,N132, N133)です。4会場に分かれているので、ご注意ください。各会場の入り口に、その会場で掲示されるポスター番号の範囲が、また各ポスターボードにポスター番号が表示されています。
- ・1つのポスター - 発表に使えるスペースは高さ180cm×幅90cmです。
- ・ポスター - は、朝8時半から貼ることができます。夜8時半までには、必ず回収してください。
- ・すぐれた発表には、ポスター賞が贈られます。ポスター賞受賞者は、大会後にウェブサイトなどで公表します。

8. 進化生物学・夏の学校 < 生物教師・学生向けの入門講座 >

- ・8月2日1～3コマ目に、F会場で開催されます。参加は無料です。

9 総会

- ・箱崎キャンパス記念講堂で8月1日、16:45 - 17:45 に、進化学会総会を行います。

・総会に参加するには進化学会会員である必要があります。

10. クロ - ク

・8月1日と4日の箱崎キャンパスではクロ - クは設けません。

・六本松キャンパスでのクロ - クは、午前8時半から午後6時まで開いています。場所は、5号館です。5号館は、1号館(左手)と新1号館(右手)の間を歩いて進むと、すぐ先の左手にあります。荷物は必ず6時までに受け取ってください。貴重品は預けないでください。万が一紛失しても、弁済はできません。

11. 休憩室

・8月1日と4日の箱崎キャンパスでは休憩室は設けません。

・六本松キャンパスでの休憩室は、新1号館2階(N121:展示室と兼用)、4階(N142、N143)、5号館に設けられていますが、飲み物はありません。展示室では若干の飲み物を用意しますが、600名をこえる参加者全員に対して十分なサービスはできません。ご了承ください。飲み物が必要な方は、生協食堂前の自販機をご利用ください。

12. 喫煙

・九州大学では、箱崎キャンパス・六本松キャンパスとも、建物内は指定喫煙場所以外全面禁煙です。喫煙は指定喫煙場所で行なってください。

13. 昼食・夕食

・8月2日と3日の六本松キャンパスでの昼食には、臨時営業している生協食堂(六本松キャンパス内、3ページ地図参照)をご利用ください。周辺にもレストランがありますが、多数の客に短時間で供給できる食数には制限があるため、時間がかかります。

・8月2日と3日の夕食は、用意されていません。6時までに夕食をとることをご希望の方は、周辺のレストランをご利用ください。また、正門を出て、横断歩道をわたり、直進するとコンビニがあります。おにぎりなどが必要な方はそちらをご利用ください。

14. 展示

・新1号館2階(N121:展示室)では、書籍展示(ワイリージャパン、九大生協、オクスフォード大学出版、地球社会基金)、および富士通による展示が行われています。九大生協では、大会参加中の著者のサイン本予約を受け付けています。また、展示室に、参加者が持参したチラシを置くコーナーを設けています。

15. 会場での連絡

・会場での電話の取り次ぎや呼び出しは原則としていたしません。

・8月1日と4日(箱崎キャンパス)では記念講堂2階ロビ - 、8月2日と3日(六本松キャンパス)では新1号館1階にメッセ - ジボ - ドを設置します。ご利用ください。

16. 駐車場はありません。自動車での来場はお断り申し上げます。

日本進化学会2003年福岡大会プログラム

8月1日 九州大学箱崎キャンパス 50周年記念講堂

- 11:00 - 12:30 評議員会 (理学部5号館生物第一会議室)
- 13:00 - 13:30 授賞式
- 13:30 - 14:00 受賞講演 (巖佐 庸・九州大学教授)
- 14:00 - 14:30 受賞講演 (岡田 典弘・東京工業大学教授)
- 14:40 - 16:40 公開講演会「生物多様性研究 - 世界のフィールドから - 」
(日本分類学会連合との共催企画)
- 16:45 - 17:45 総会
- 18:00 - 20:00 懇親会 (会場: 記念講堂1階の九大生協中央食堂)

8月2日 九州大学六本松キャンパス

- 08:50 - 10:50 シンポジウムまたはワークショップ (1コマ目)
- 11:00 - 13:00 シンポジウムまたはワークショップ (2コマ目)
- 13:00 - 14:00 昼休み
- 14:00 - 16:00 シンポジウムまたはワークショップ (3コマ目)
- 16:00 - 18:00 ポスター発表
- 18:00 - 20:00 シンポジウムまたはワークショップ (4コマ目)

8月3日 九州大学六本松キャンパス

- 08:50 - 10:50 シンポジウムまたはワークショップ (1コマ目)
- 11:00 - 13:00 シンポジウムまたはワークショップ (2コマ目)
- 13:00 - 14:00 昼休み
- 14:00 - 16:00 シンポジウムまたはワークショップ (3コマ目)
- 16:00 - 18:00 ポスター発表
- 18:00 - 20:00 シンポジウムまたはワークショップ (4コマ目)

8月4日 九州大学箱崎キャンパス 50周年記念講堂

- 09:00 - 13:00 国際シンポジウム「実験的アプローチによる進化学」
(21世紀COE「統合生命科学」との共催企画)

日本進化学会福岡大会 2003 企画リスト

8月1日(金) 公開講演会「生物多様性研究－世界のフィールドから」

8月2日(土) 1コマ目(08:50 - 10:50)

- A会場 大気・海洋と生物の共進化(1)
- B会場 ゲノム比較から進化ダイナミクスへ
- C会場 発生進化学と進化発生学の諸問題
- D会場 昆虫社会内の「裏切り」に端を発する同所的種分化
- Emery's rule の直接検証
- E会場 全生物共通の祖先(生命の起源)に対する実験的なアプローチ
- F会場 進化生物学夏の学校(1)
- G会場 パラサイト・エスケープ --- 病原体の進化と分子疫学
- M会場 形態測定学夏の学校 - 見ればわかる!「かたち」の数理(1)

8月2日(土) 2コマ目(11:00 - 13:00)

- A会場 大気・海洋と生物の共進化(2)
- B会場 進化を動かす、ゲノム複製、損傷修復、変異生成
- C会場 Eco-Devo-Evo(生態 - 発生 - 進化) - 進化学の新たなトレンド -
- D会場 人間行動の生物学的基礎
- E会場 適応放散の進化生態学
- F会場 進化生物学夏の学校(2)
- G会場 分子の進化から生理機能の進化へ - “見る”という機能の進化 -
- M会場 形態測定学夏の学校 - 見ればわかる!「かたち」の数理(2)

8月2日(土) 3コマ目(14:00 - 16:00)

- A会場 進化学一般(1)
- B会場 バイオインフォマティクスからのゲノム機能・進化の解析
- C会場 分化・死の起源
- D会場 種分化の生態学
- E会場 生物間相互作用による共進化 - 植物と微生物を中心に -
- F会場 進化生物学夏の学校(3)
- G会場 進化分子工学によるタンパク質の機能改変
- M会場 形態測定学夏の学校 - 見ればわかる!「かたち」の数理(3)

8月2日(土) 4コマ目(18:00 - 20:00)

- A会場 中学・高校でどのように進化を教えるか
- B会場 ポストゲノムシーケンス時代の進化多様性研究
- C会場 左右非対称性の進化
- D会場 種形成の分子機構: 分子から生態へ
- E会場 微生物における「種」とは何か

- G会場 MHC の分子進化
M会場 形態測定学夏の学校 - 見ればわかる！「かたち」の数理(4)

8月3日(日) 1コマ目(08:50 - 10:50)

- A会場 古細菌研究から見えてくる生命初期進化の道筋、遺伝子進化と水平伝播
B会場 エピジェネティクスとゲノムの進化
C会場 構造ゲノミクスの時代は分子進化研究にどのようなインパクトを与えるか？
D会場 生物多様性の保全と復元
E会場 進化する系統推定法の最前線はココ！ -多く・正しく・軽やかに-
F会場 求愛行動様式の進化:様々な種で
G会場 遺伝的多様性の維持機構(1)

8月3日(日) 2コマ目(11:00 - 13:00)

- A会場 進化学一般(2)
B会場 病原細菌の適応戦略
C会場 ナチュラルヒストリー:物集めと解析と
D会場 森林の分子生態学
E会場 昆虫の分子系統と進化
F会場 魚類の進化多様性理解の比較ゲノム学
G会場 遺伝的多様性の維持機構(2)

8月3日(日) 3コマ目(14:00 - 16:00)

- A会場 非生命体の進化理論
B会場 ヒト疾患関連遺伝子の解析戦略:進化医学の方法論
C会場 形態形成研究から表現型進化を考える
D会場 希少動物の過去・現在・未来
E会場 光合成の進化とゲノム
F会場 Theoretical evolutionary biology
G会場 進化の原動力としての分子多様性獲得機構:その調節と破綻

8月3日(日) 4コマ目(18:00 - 20:00)

- A会場 進化論革命へ！第2回新今西進化論とネオダ - ウィニズムの対話
B会場 自然免疫の起源と分子進化
C会場 分子から見た生物の系統と進化
D会場 自殖をめぐる植物の進化
E会場 生物学的実体とその階層構造
G会場 トランスポゾンと宿主の関わり

8月4日(月) 国際シンポジウム 実験的アプローチによる進化学

ポスター発表一覧

偶数番号のポスターは2日に、奇数番号のポスターは3日に掲示・発表されます。

[\[P001 \]](#) 「Evolution of the HoxA4-A7 genomic sequences of human, chimpanzee, gorilla, and orangutan」

Kim Choong-Gon, Kitano Takashi, Sumiyama Kenta, and Saitou Naruya (Division of Population Genetics, National Institute of Genetics)

[\[P002 \]](#) 「実験室内進化ダイナミクスの熱力学的概念に基づく解釈」

相田拓洋(独立行政法人産業技術総合研究所 生命情報科学研究センター)

[\[P003 \]](#) 「ミトコンドリア DNA 全長配列に基づくヒゲクジラ亜目全種の系統関係とその分岐年代」

佐々木剛(東工大)、二階堂雅人(東工大)、Healy Hamilton(カリフォルニア大)、後藤睦夫(鯨類研)、加藤秀弘(遠水研)、上田真久(鯨類研)、Luis A. Pastene(鯨類研)、曹纒(統数研)、長谷川政美(統数研)、R. Ewan Fordyce(オタゴ大)、岡田典弘(東工大)

[\[P004 \]](#) 「東アフリカ産カワスズメ科魚類における光受容体タンパク質遺伝子の適応的進化」

菅原亨1、寺井洋平1、今井啓雄2、七田芳則2、岡田典弘1 (1東京工業大学大学院生命理工学研究科、2京都大学大学院理学研究科)

[\[P005 \]](#) 「ミンククジラゲノム中における SINE 挿入多型の検出」

牧野 瞳(東工大・生命)、二階堂 雅人(統計数理研究所)、佐々木 剛(東工大・生命)、後藤睦夫(日本鯨類研究所)、上田 真久(日本鯨類研究所)、Luis A. Pastene(日本鯨類研究所)、岡田典弘(東工大・生命)

[\[P006 \]](#) 「東アフリカ産カワスズメ科魚類の適応放散の過程における lysozyme 遺伝子の役割」

寺井洋平 1, 2、山崎亮 2、太田遼子 2、岡田典弘 2 (1名古屋大学理学研究科、2東京工業大学生命理工学研究科)

[\[P007 \]](#) 「シクリッド GDF5 遺伝子の進化」

藤村衛至 1、寺井洋平 1、宮正樹 2、西田睦 3、岡田典弘 1 (1東京工業大学大学院生命理工学研究科、2千葉県立中央博物館、3東京大学海洋研究所)

[\[P008 \]](#) 「二枚貝類の殻形態の進化及びその背景にある殻形成について」

梶 昭太(京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物学教室)

[\[P009 \]](#) 「棘皮動物ウミシダ類の腕の分岐過程」

柴田朋子(東京大・院理、現所属は神戸大・院自然科学)、大路樹生(東京大・院理)

[\[P010 \]](#) 「上部白亜系異常巻アンモノイド: Baculites tanakae の相対成長の推定」

辻野 泰之(徳島県立博物館)

[\[P011 \]](#) 「進化的に保存された ER 蛋白遺伝子 p24 1 のヒトでの変異」

松隈章一(神奈川県立がんセンター臨床研究所)

[\[P012 \]](#) 「魚類の左右二型の存続と変動についての数理的研究」

中嶋美冬(東大海洋研・資源解析)、松田裕之(東大海洋研・資源解析)、堀道雄(京大・理)

[P013] 「Asymmetry in evolutionary rate of duplicated genes and purifying selection」

Zhang Ze (University of Tokyo)

[P014] 「十脚甲殻類と昆虫類における汎用プライマーを用いたミトコンドリアゲノム全塩基配列決定法」

山内視嗣(東大海洋研)、宮正樹(千葉中央博)、町田龍二(東大海洋研)、西田睦(東大海洋研)

[P015] 「未来予測と過去解釈を用いたカツオブシムシの行動軌跡の新しい解析法」

深野 毅雄(神戸大学理学部地球惑星学科非線形科学研究室)

[P016] 「SINE の挿入パターンに基づいた Afrotheria 内部の系統解析」

西原秀典 1、二階堂雅人 1、福本幸夫 2、Michael J. Stanhope3、岡田典弘 1 (1 東京工業大学大学院生命理工学研究科, 2 広島市安佐動物公園, 3 Biology and Biochemistry, Queen's University of Belfast, UK)

[P017] 「深海魚フウセンウナギ類のミトコンドリアゲノムにおける大規模な遺伝子配置変動」

井上 潤(東大海洋研)・宮 正樹(千葉中央博)・塚本 勝巳(東大海洋研)・西田 睦(東大海洋研)

[P018] 「ミトコンドリア全長配列を用いた有袋類の系統解析」

宗正円生1、二階堂雅人 1,2、Christopher C. Austin3、Donnellan Steve4、曹 纓 2、長谷川政美 2、岡田典弘 1 (1 東京工業大学大学院生命理工学研究科, 2 統計数理研究所, 3 ノースダコタ大学, 4 サウスオーストラリア博物館)

[P019] 「個体数の変動を伴う遺伝子系図学モデルと集団の遺伝的多様性」(講演番号:3G2)

佐野彰紀, 舘田英典(九大・院理), 清水昭信(名市大・システム自然科学), 飯塚勝(九歯大・数学)

[P020] 「ダム湖における外来種ブルーギルの定着要因及び在来魚類との種間関係」

久保田昌子(広島大学大学院生物圏科学研究科)谷口義則(山口県立大学)

[P021] 「共生バクテリアによるヒメハダニ科 *Brevipalpus californicus* の性比異常」

千吉良敦史(広島大学・生物圏科学)・三浦一芸(近中四農研、広島大学・生物圏科学)

[P022] 「バイカル/シントウトガリネズミ・グループにおける形態と系統の微妙な関係」

大舘智氏(北大低温科学研究所)・阿部永(元北大農学部)

[P023] 「頭索類ナメクジウオからの脊椎動物嗅覚受容体遺伝子関連遺伝子の単離とその発現」

佐藤剛毅(京都大学・瀬戸臨海実験所)

[P024] 「真核生物の Pyruvate: ferredoxin oxidoreductase 遺伝子の分子進化学的解析」

守屋繁春 工藤俊章(理化学研究所 生物基盤研究部, JST ICORP, 横浜市立大学 大学院 環境分子生物学研究室)

[P025] 「マイコプラズマ科における *Mycoplasma penetrans* ゲノムの特徴」

佐々木裕子(国立感染症研究所)

[P026] 「分岐分析を用いた白亜紀アンモナイト類の系統解析」

吉岡由紀・棚部一成(東京大学・院理・地球惑星科学専攻)

[P027] 「うどんこ病菌(植物寄生菌類)の熱帯・亜熱帯地域への適応 - Brasiliomyces 属菌を事例として - 」

高松 進¹、Sawwane Kom-un¹、Saranya Limkaisang¹、Chaiwat To-anun²、佐藤幸生³ (1 三重大生資、2 チェンマイ大農、3 富山県立大)

[P028] 「南米固有のウドンコカビ Erysiphe forestalis の系統的位置と進化」

新家聖子¹、Maria Havrylenko²、高松進¹ (1 三重大生資、2 Universidad Nacional del Comahue, Argentina)

[P029] 「ミトコンドリアDNA全長配列に基づく鱗脚類の系統的位置付け」

米澤隆弘(東大院・理・生物科学 / 東工大院・生命理工)、二階堂雅人(統数研 / 東工大院・生命理工)、甲能直樹(国立科博・地学・古生物)、岡田典弘(東工大院・生命理工)、長谷川政美(統数研)

[P030] 「垂直感染の回避としての細胞質の片親からの遺伝と2性の進化」

山内 淳(京都大学生態学研究センター)

[P031] 「ガマアンコウ目魚類におけるミトコンドリアゲノム構造の大規模な変異」

佐藤 崇(東大・海洋研)、宮 正樹(千葉中央博)、西田 睦(東大・海洋研)

[P032] 「雌雄の利害の対立による急速な形態進化: パバヤステ属の交尾器」

田辺力(徳島県立博物館)、曾田貞滋(京都大学理学部)

[P033] 「タカラガイの殻形態に見られる地理的変異: 理論と実験」

入江貴博・巖佐庸(九大・理・生物)

[P034] 「哺乳類の中耳骨の進化の分子的背景を探る研究」

中澤真澄(倉谷滋理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター、形態進化研究チーム)

[P035] 「遺伝子の数は細胞分化状態の多様性を増加させない」

望月敦史(基礎生物学研究所・情報生物学研究センター)

[P036] 「大腸菌を用いた実験室内進化系で見られた遺伝的多様化」

柏木明子¹、能町亘¹、勝野雅人¹、Mohamad T. Alam¹、ト部格¹、四方哲也^{1,2,3,4,5} (1. 阪大・工、2. 阪大・情報、3. 阪大・生命機能、4. 東大・総合文化、5. JST)

[P037] 「制御遺伝子ネットワークにおける結合度のべき乗分布」

大澤智興(九州工業大学 情報工学部 生物化学システム工学科)

[P038] 「神経堤細胞における Hox code の進化 - ナメクジウオ Hox のシスエレメントの解析から」

和田洋(京大・フィールド科学・瀬戸臨海)

[P039] 「種数が少ない場合における形質進化の解析法」

粕谷英一・大塚愛子・矢原徹一(九州大学理学部生物学教室)

[P040] 「大腸菌実験進化システムを用いた多様化プロセスの再現」

森光太郎(阪大院・情報)・柏木明子(阪大院・工)・ト部格(阪大院・工)・四方哲也(阪大院・工、阪大院・情報科学、阪大院・生命機能、東大院・総合文化、科技団・さきがけ研究 21)

[P041] 「糸状菌の一部で機能する遺伝子不活性化機構 RIP (repeat-induced point mutation)の多重遺伝子に及ぼす影響」

池田健一(農業生物資源研究所)・中屋敷均(神戸大学農学部)

- [P042] 「**托卵鳥ジュウイチ *Cuculus fugax* における, “感覚便乗”型擬態**」
田中 啓太(立教大・院・生命理学・動物生態)
- [P043] 「**東アフリカ産カワスズメ科魚類における顎部の種特異的形態に関わる原因遺伝子の検索**」
小林 直樹¹, 渡辺 正勝¹, 雉本 禎哉¹, 中澤 真澄², 村上 安則², 倉谷 滋², 藤山 秋佐夫⁴, 小原 雄治³, 五條堀 孝³, 岡田 典弘¹ (1 東工大・院生命, 2 理研 CDB, 3 国立遺伝研, 4 国立情報研)
- [P044] 「**カタユレイボヤゲノムにコードされるタンデム重複遺伝子**」
伊東真知子(京都大学大学院理学研究科動物学教室)、佐藤矩行(京都大学大学院理学研究科動物学教室)、川島武士(京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンター)
- [P045] 「**基礎生物学研究所・総合研究大学院大学分子生物機構論専攻大学院案内**」
長谷部光泰(基礎生物学研究所)
- [P046] 「**メダカの性的二型の緯度間変異に与える遺伝および環境の影響について**」
滝沢壮治・山平寿智(新潟大学大学院自然科学研究科) [P167] に変更(3日に発表)
- [P047] 「**ハリネズミ科内部の分子系統学的解析**」
長尾清香(東工大院・生命理工)、二階堂雅人(東工大院・生命理工、統計数理学研究所)、原田正史(大阪市立大学大学院医学研究科動物実験施設)、岡田典弘(東工大院・生命理工)
- [P048] 「**メダカ地域集団間におけるミトコンドリアゲノムの分子進化**」
向井貴彦(東大新領域)・宮 正樹(千葉中央博)・西田 睦(東大海洋研)・三谷啓志(東大新領域)
- [P049] 「**シロアリ腸内共生原生生物におけるセルロース分解機構の分子進化学的解析**」
戸高眠¹, 守屋繁春^{1, 2, 3}, 工藤俊章^{1, 2, 3} (1 横市院・総合理学, 2 科技団・ICORP, 3 理研・生物基盤)
- [P050] 「**ソバ属ウロファイラムグループの分子系統と分岐年代の推定**」
西本由利子(総研大・生命体)、長谷川政美(総研大、統数研)
- [P051] 「**Beta-actin および EF-2 遺伝子を用いた Oxymonads 目原生生物の分子系統学的解析**」
本堂朋子¹, 守屋繁春^{1, 2, 3}, 工藤俊章^{1, 2, 3} (1 横市院・総合理学, 2 科技団・ICORP, 3 理研・生物基盤)
- [P052] 「**ムラソイ複合種群には何種含まれるのか?**」
甲斐嘉晃(京大院農)・中山耕至(京大院農)・中坊徹次(京大総博)
- [P053] 「**トカゲは海を渡ったか?**」
本多正尚(信州大・医)・太田英利(琉球大・熱生研)・疋田努(京大・理)
- [P054] 「**自己組織化法に基づいた生物種固有のオリゴヌクレオチド組成によるゲノム多様性の解明**」
阿部貴志(遺伝研、ザナジェン)、金谷重彦(奈良先端大)、木ノ内誠(山形大)、上月登喜男、中川智(ザナジェン)、福島敦史、小坂洋子、池村淑道(遺伝研)
- [P055] 「**テントウムシ科における食性進化過程の検討**」
玉城みのり・小波本直忠・多和田真吉・安田正昭(琉大院・農・生資料)
- [P056] 「**カメムシ亜目における 28S rDNA に基づく分子系統解析**」

鳩間咲子 豊元厚志 多和田真吉 小波本直忠 (琉大院・農・生資科)

[P057] 「ミトコンドリア 16S rRNA 遺伝子からみたコガネムシ科 Scarabaeidae の系統進化」

細谷忠嗣(京大・院・理)・荒谷邦雄(九大・院・比文)・近雅博(滋賀県立大・環境科学)

[P058] 「複数の遺伝子に基づく食肉目イタチ科の系統解析」

佐藤淳(福山大学 生命工学部)、細田徹治(和歌山県立紀央館高校)、Mieczyslaw Wolsan (Museum and Institute of Zoology, and Institute of Paleobiology, Polish Academy of Sciences)、鈴木仁(北海道大学 地球環境科学研究科)

[P059] 「伊豆弧の固有種, オカダトカゲ *Eumeces laticutatus* (爬虫綱: トカゲ科) の分布と系統生物地理」

岡本 卓・疋田 努・本川 順子(京大・院理・動物)

[P060] 「進化論革命へ! 新今西進化論「進化生物学と脳科学の理論的統合」

水幡正蔵

[P061] 「サケ・マスの姉妹群はカワカマスである: ミトコンドリア全ゲノム解析に基づく原棘鱚類の系統関係」

石黒直哉(東大海洋研)・宮 正樹(千葉中央博)・西田 睦(東大海洋研)

[P062] 「トガオアガマ類の分子系統解析」

サヤド・アメル(名大・院理、カイロ大・動物)、熊澤慶伯(名大・院理)

[P063] 「ナミテントウの雄殺しバクテリアの密度と雄胚との関係」

岡田真実 1、田上陽介 1、中村佳代 1、三浦一芸 1, 2 (1 広島大学生物圏科学研究科, 2 近畿中国四国農業研究センター)

[P064] 「プラナリアとイカの脳における遺伝子発現タグ解析の比較と担輪動物における脳形態の進化」

滋野修一・岡本圭司・梅園良彦(理研・CDB・進化再生)・村上安則(理研・CDB・形態進化)・樽井寛(理研・CDB・進化再生)・春日井隆(名古屋港水族館)・阿形清和(理研・CDB・進化再生)

[P065] 「細胞群体の内部における協力進化のモデル化」

中山功一(京都大学大学院情報学研究科)

[P066] 「イオンポンプの進化が語る真核生物の起源: 古細菌 P-type ATPase のサブファミリー分布はメタン生成古細菌と真核生物の近縁性を示唆する」

岡村英幸 1、出縄政嗣 2、大庭良介 2、川合進二郎 1、竹安邦夫 2 (1 大阪歯科大学 生物学教室, 2 京都大学 生命科学研究科)

[P067] 「mtDNA 全長配列を用いた有鱗目(ヘビ・トカゲ)の系統関係の決定」

村田有美枝 1, 2、二階堂雅人 3, 2、岡田典弘 2、長谷川政美 3, 1 (1 東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻, 2 東京工業大学大学院生命理工学研究科, 3 統計数理研究所)

[P068] 「アゲハふ節感覚毛に発現する遺伝子」

尾崎克久(生命誌研究館)、小野肇(生命誌研究館)、吉川寛(生命誌研究館)

[P069] 「カリフォルニア Mojave 砂漠に生育する *Camissonia refracta* (Onagraceae, Myrtales) にみられる分化」(講演番号:2D3)

野口順子(京大院理植物)、Jeson P Sexton and Jim Andre (California Univ. Riverside)

[P070] 「Individual-based model of sex-ratio meiotic drive and meiotic drive suppressor in stalk-eyed flies」

Yukari Suzuki (Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)

[P071] 「スギおよび近縁種の塩基配列多型」(講演番号:3D2)

角友之(九州大学理学府) 吉丸博志(森林総合研究所) 津村義彦(森林総合研究所) 館田英典(九州大学理学府)

[P072] 「Saccharomyces 属酵母における性フェロモン遺伝子の種多様性」

児玉拓也・村山真彦・壺井基夫・久富泰資 (福山大 生命工学)

[P073] 「大腸菌と細胞性粘菌による人工共生系の形成:大腸菌全遺伝子発現量の網羅的解析」

松山晋一(阪大院・情報)・古澤力(理研・発生再生総合研究センター)等々力政彦(阪大院・工) 卜部格(阪大院・工)・四方哲也(阪大院・工, 阪大院・情報科学, 阪大院・生命機能, 東大院・総合文化, 科技団・さきがけ研究 21)

[P074] 「オオシロアリの兵隊分化に伴う形態形成と遺伝子発現の解析」

越川滋行(東大院・理)・Richard Cornette・松本忠夫・三浦徹(東大院・総合文化)

[P075] 「アミノ酸配列選択による立体構造変化とフォールディング過程における立体構造変化の比較:計算機シミュレーション」

長尾知生子(名大院・情報科学)・寺田智樹(名大院・情報科学)・笹井理生(名大院・情報科学)・四方哲也(阪大・工, 阪大・情報科学, 阪大・生命機能, 東大・総合文化, 科技団 さきがけ 21)

[P076] 「アナナスショウジョウバエ類近縁 2 種の種間雑種 F1 雄および染色体置換 F2 雄の求愛歌と交尾率」

山田博万 1、松田宗男 2、小熊讓 1(1 筑波大学生物科学系、2 杏林大学医学部)

[P077] 「A Proposal for a Study of Adaptation and Gene Flow in Peripheral Populations of *Picea sitchensis*」

Makiko Mimura and Sally N. Aitken Centre for Forest Gene Conservation, and Department of Forest Sciences, University of British Columbia

[P078] 「海洋性動物プランクトン・Neocalanus 属カイアシ類の分子系統学的研究」

町田 龍二(東大海洋研)・宮 正樹(千葉中央博)・西田 睦(東大海洋研)・西田 周平(東大海洋研)

[P079] 「海洋性動物プランクトン・Neocalanus 属カイアシ類において確認されたミトコンドリア偽遺伝子の解析」

町田 龍二(東大海洋研)・宮 正樹(千葉中央博)・西田 睦(東大海洋研)・津田 敦(東大海洋研)・西田 周平(東大海洋研)

[P080] 「キイロショウジョウバエの移動性は、ランダムな動きによるものか」

三笠建次(明海大学歯学部生物学研究室)

[P081] 「動物の系統発生における上皮クラシックカドヘリンの構造変化」

小田広樹 1、秋山-小田康子 1, 2、田川訓史 3、Tom Humphreys 3、Shicui Zhang 4 (1 JT 生命誌研究館、2 JST、PRESTO、3 ハワイ大、4 青島海洋大)

[P082] 「社会性昆虫における可塑的な利他行動: どのような場面で利他的に振る舞うのか？」

熊野了州(北大・農・動物生態)・粕谷英一(九大・理・生態科学)

[P083] 「The development of novel head structures in parrots」

Masayoshi Tokita (Department of zoology, Graduate school of science, Kyoto University)

[P084] 「頭足類ミトコンドリアゲノム構造の進化」

横堀伸一、福田尚也、青山友子、中村光江、吉田真理、大島泰郎(東京薬科大学生命科学部分子生命科学科)

[P085] 「比較染色体ペインティング法を用いた Apodemus 属の核型進化の解析」

松原和純 1、梅原千鶴子 1, 2、土屋公幸 3、松田洋一 1, 2 (1 北大院・地球環境、2 北大・先端研・動物染色体研、3 東京農大・農・野生動物)

[P086] 「なぜナミtentウでは雄殺しバクテリアの感染率が低いのか？」

中村佳代(広大院・生物圏科学)・三浦一芸(広大院・生物圏科学、近中四農研)・上野秀樹(新潟大・教育)

[P087] 「非リボソーム型ポリペプチドシンターゼのバクテリア同種内における多様化機構 ~ 有毒ラン藻 *Microcystis aeruginosa* の例」

田辺雄彦、彼谷邦光、渡辺信(国立環境研究所)

[P088] 「東アジアの里山に生息する森林性蝶類ウラナミアカシジミの分子系統地理」

小田切顕一・矢田脩・小池裕子(九大・比文)

[P089] 「ヒトデ綱モミジガイ目の分子系統学的解析」

松原未央子(京大・院理・瀬戸臨海)、小松美英子(富山大・理・生物)、和田洋(京大・院理・瀬戸臨海)

[P090] 「原始細胞の獲得が可能な環境条件の解析: 人工化学反応系によるシミュレーション」

小野直亮(ATR 人間情報科学研究所)

[P091] 「リストラされない偽遺伝子: ブダイ科魚類のミトゲノムにおける tRNA 偽遺伝子の進化」

馬淵浩司(東大海洋研)・宮正樹(千葉中央博)・佐藤崇(東大海洋研)・M. W. Westneat (Field Museum of Natural History)・西田 睦(東大海洋研)

[P092] 「RAG1 遺伝子の塩基配列解析に基づくモグラ科の系統関係」

篠原明男(宮崎医科大学フロンティア科学実験総合センター)、Kevin L. Campbell(Department of Zoology, University of Manitoba, CANADA)、鈴木仁(北海道大学大学院地球環境科学研究科生態遺伝学講座)

[P093] 「分子系統学的手法に基づくハツカネズミ属とアカネズミ属の系統分化要因の比較」

鈴木仁、島田朋史(北大・地球環境)、Ken Aplin(オーストラリア CSIRO 環境維持)

[P094] 「リボソームタンパク質遺伝子を用いた GU-AG イントロンの進化の解析」

吉浜 麻生、剣持 直哉(宮崎医科大学フロンティア科学実験総合センター)

[P095] 「ヒノキ科樹木における核遺伝子の分子進化学的解析」

楠見淳子(九大・理)、津村義彦(森林総研)、吉丸博志(森林総研)、舘田英典(九大・理)

[P096] 「日本亜高山帯において寄主植物と寄主植物と羽化時期が同一であるクロハバチ属近縁二種 *Macrophya apicalis* と *M. infumata* の遺伝的距離」

櫻井厚司(神戸大学院自然科学研究科)

[P097] 「タンガニカ湖におけるスケールイーターの起源と進化」

高橋里英子(京大)、渡辺勝敏(京大)、西田睦(東大)、堀道雄(京大)

[P098] 「複数の分子データを用いたシャジクモ類と陸上植物(*Streptophyta*)の系統解析」

佐々木剛、加藤和貴、岩部直之、宮田隆(京都大学大学院理学研究科)

[P099] 「高等脊椎動物に見られる分子進化速度の低下」

星山大介、宮田隆(京大・院理)

[P100] 「どのようにして最適性比は実現されてきたのか? : ムネアブラムシ族について」

遠坂康彦(京大院・農・昆虫生態)

[P101] 「The discovery of the genes relating to the evolution of an eyeless cave dwelling form from an eyed surface dwelling form of Mexican tetra, *Astyanax mexicanus*, by cDNA microarrays」

Nobuhiko Tanaka¹, Shozo Yokoyama², Kazuho Ikee¹, Takashi Gojobori¹ (1National Institute of Genetics, 2Syracuse University)

[P102] 「クロアワビとマダカアワビの関係について」

浜口昌巳・佐々木美穂(瀬戸内水研)

[P103] 「細胞内共生細菌ボルバキアに感染する新規バクテリオファージの同定と解析」

藤井由紀子(東大・院理・生物科学)

[P104] 「ミトコンドリア DNA から見たヒメボタルの遺伝的変異と分子系統解析」

日和佳政(福井工大・工)、馬場弘孝(福井工大・工)、草桶秀夫(福井工大・工)

[P105] 「ミトコンドリア DNA を用いた日本産キンウワバ類の分子系統解析」

大屋敷亮輔・野村昌史(千葉大・園芸・応動昆)

[P106] 「アブラムシにおける跳躍的種分化」

秋元信一(北大・農・生物生態学体系学)

[P107] 「縦列配列情報を用いた鳥型結核菌の系統発生学的解析」

西森敬、田中聖、西森知子、菅野徹、石原涼子、内田郁夫(動衛研・北海道)

[P108] 「ナガサキアゲハの分布拡大ルートを探る ~ 日本での分布の成立と南西諸島との交流」

吉尾政信(大阪府立大・先端研)・石井 実(大阪府大院・農生・昆虫)・八木孝司(大阪府大・先端研)

[P109] 「28S rDNA を分子指標とした二枚貝綱翼形亜綱の分子系統解析」

橋本朝子(神奈川大学・理学・生物)、松本政哲(京都大学・理学・生物物理)

[P110] 「食う 食われるの関係は生物の大型化の原因となるか?」

吉田勝彦(国立環境研究所生物多様性プロジェクト)

[P111] 「ファイトプラズマの膜タンパク質における正の選択は昆虫との相互作用によって引き起こされる」

柿澤茂行 1、大島研郎 1、鈴木志穂 1、鄭熙英 1、魏薇 2、西川尚志 1、宇垣正志 1、岸野洋久 2、難波成任 1 (1 東大院・新領域、2 東大院・農生科)

[P112] 「細胞内共生菌の進化速度上昇に伴う非同義置換パターンの変化」

武田 淳一(生物情報解析研究センター)

[P113] 「グリシル tRNA 合成酵素(GlyRS)の祖先型化とその耐熱性祖先生物は好熱性の生き物であったか？」

清水 秀明 1、横堀 伸一 1、大栗 誉敏 2、大島 泰郎 1、横川 隆志 3、西川 一八 3、山岸 明彦 1 (1 東薬大・生命科学、2 九大院・薬、3 岐阜大・工・生命工)

[P114] 「PKR 遺伝子配列による Glycyrrhiza 属植物の系統解析」

林 宏明、三輪悦子、志村久美子、市村恵子、井上謙一郎(岐阜薬大) 梶田 忠(東大理)

[P115] 「ノギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus* の交尾行動:小型は大型より交尾に熱心」

岡田 泰和(北大院・農・動物生態)、長谷川 英祐(北大院・農・動物生態)

[P116] 「ショウジョウバエの MOL の数はどのようにして変化したのか？」

館野実、山元大輔(早稲田大学・理工)

[P117] 「東アフリカ産カワスズメ科魚類における体表模様形成関連遺伝子の進化」

杉江綾乃 寺井洋平、岡田典弘(東工大・院生命)

[P118] 「フグの捕食が進化させる潮間帯貝類の色彩多型」

繁宮悠介(京大 人・環)

[P119] 「履歴が生み出す新規に獲得した遺伝子に対する浸透度の違い」

鈴木誉保 1、柏木明子 1、森光太郎 2、卜部格 1、四方哲也 1,2,3,4,5 (1 阪大・工、2 阪大・情報、3 阪大・生命機能、4 東大・総合文化、5JST)

[P120] 「放散虫の化石記録に残された遺伝子の水平伝播」

松岡 篤(新潟大学・理・地質)

[P121] 「ミトコンドリアDNAから推測された後期更新世のカヤネズミの旧北区への放散」

安田俊平 1、Peter Vogel2、土屋光幸 3、鈴木仁 1 (1 北海道大学大学院地球環境科学研究科、2Batiment de Biologie Université de Lausanne、3 東京農業大学農学部)

[P122] 「ミトコンドリアDNAデータに基づくイカ類の分子系統解析」

赤崎哲也 1、土屋光太郎 2、瀬川進 2、岡田典弘 1(1 東工・生命理工、2 東水大・資源育成)

[P123] 「有柄棘皮動物ニッポンウミシダにおける茎の形成と Brachyury および FoxA2 の発現パターン解析」

佐藤敦子 1、日比野拓 2、原祐子 2、中野裕昭 1、雨宮昭南 1,2、西野敦雄 1 (1 東大・新領域・先端生命、2 東大・院理・生物科学)

[P124] 「白亜紀中期に生じた大量絶滅事変が海生二枚貝類のイノセラムス類に与えた影響」

高橋昭紀(早大院・理工)

[P125] 「東アフリカ産カワスズメ科魚類の顎部の形態形成に関する遺伝子の単離と解析」

雫本禎哉(東工大・院・生命)、渡邊正勝(東工大・院・生命)、中澤真澄(理研 CDB、遺伝研)、村上安則(理研 CDB)、倉谷滋(理研 CDB)、小原雄治(遺伝研)、五條堀孝(遺伝研)、岡田典弘(東工大・院・生命)

[P126] 「カメの甲は既存の遺伝子の co-option によってもたらされたのか」

工樂樹洋 1,2、薄田亮 1、倉谷滋 1(1 理研 CDB・形態進化、2 京都大院理・生物物理)

[P127] 「イチジクコバチが産卵場所を選ばない要因」

木下智章(九州大・理・生物)

[P128] 「細胞内カルシウムイオンチャネル遺伝子族の多様化時期の推定」

廣瀬希、岩部直之、宮田隆(京都大学大学院理学研究科)

[P129] 「無作為に選んだ 1 つのアミノ酸配列から進化する可能性」

林勇樹(阪大院・情報)・坂田啓司(研究成果活用プラザ北海道)・牧野祥嗣(富山県立大・生工研セ)・卜部格(阪大院・工)・四方哲也(阪大院・工、阪大院・情報科学、阪大院・生命機能、東大院・総合文化、科技団・さきがけ研究 21)

[P130] 欠番

[P131] 「完全ゲノム配列の比較解析から示されたコリネ菌の進化」

中村洋路(遺伝研)、西尾陽介(味の素)、池尾一穂(遺伝研)、五條堀孝(遺伝研、JBIRC)

[P132] 「カンアオイを例とした野外測定法の簡略化」

相原秀基(東京農業大学)

[P133] 「『擬断熱膨張型』水熱反応装置による化学進化実験」

二村泰弘 1、後藤知将 1,2、山口由岐夫 2、山本健二 1,2 (1 国際医療セ研・医療生態、2 東大・院工・化シス)

[P134] 「ヒトとマウスの間のコドン置換行列」

三沢計治(千葉県産業振興センター、地域結集プロジェクト)

[P135] 「イントロン欠失・挿入の進化的時間における変遷:P 型 ATPase スーパーファミリーを例に」

出縄政嗣(京大生命科学研究科)、大庭良介(京大生命科学研究科)、岡村英幸(大阪歯科大学)、竹安邦夫(京大生命科学研究科)

[P136] 「ランダム配列ポリペプチドの DNA 結合能に対する実験進化とその系統解析」

豊田一志(阪大院・工)、中島敏博(阪大院・工、化血研)、卜部格(阪大院・工)、四方哲也(阪大院・工、阪大院・情報科学、阪大院・生命機能、東大院・総合文化、科技団・さきがけ 21)

[P137] 「マウスを『データ構造』として利用する」

武田裕彦(九州大学理学部生物学科数理生物学講座)

[P138] 「脊椎動物におけるミトコンドリア遺伝子のアミノ酸サイト別進化速度」(講演番号:3A2)

和田康彦(佐賀大学農学部; BIRD JST)、山田義之(佐賀大学農学部)、西堀正英(広島大学大学院生物圏科学)、安江 博(農業生物資源研ゲノム研究グループ)

[P139] 「物質の進化系統樹から共通祖先を考える」(講演番号:2E1)

飯田一浩(総合研究大学院大学 教育研究交流センター)

- [P140] カイコ(*Bombyx mori*)で新に確認された MITE 様トランスポゾン Organdy の特性(講演番号:3G4)
行弘研司、河本夏雄(生物研) P169 に変更(8月3日に発表)
- [P141] 「疾患関連遺伝子同定の基礎理論」(講演番号:3B3)
高橋亮(理化学研究所ゲノム科学総合研究センター個体遺伝情報研究チーム)
- [P142] 「Epistatic selection and linkage disequilibrium within a population」(講演番号:3F3)
K Ryo Takahasi (RIKEN GSC, Population & Quantitative Genomics)
- [P143] 「ショウジョウバエ卵殻形態の進化的多様性を生み出す EGFR シグナル伝達経路の種特異的な活性化様式」(講演番号:2A3)
中村征史、松野健治(東京理科大・基礎工・生物工)
- [P144] 「溜め池の立地条件および池干し頻度が外来魚ブルーギルの侵入と定着の成否に及ぼす影響」
森井 智裕(広島大学大学院生物圏科学研究科)谷口 義則(山口県立大学)
- [P145] 「スギ種内 DNA 多型の維持機構に関する研究」(講演番号:3G1)
藤本明洋(九大・院理)、角友之(九大・院理)、吉丸博志(森林総研)、津村義彦(森林総研)、舘田英典(九大・院理)
- [P146] 「ポリオウイルスは根絶できるのか --- 確率論的進化疫学モデルか」(講演番号:2G1)
佐々木顕、原口佳大(九州大学理学部)、吉田弘(国立感染症センター)
- [P147] 「共進化サイクルと多様化選択 --- 宿主・病原体相互作用とネットワークの進化」(講演番号:2E3)
佐々木顕(九大・理)
- [P148] 「酵素の耐熱性解析に基づく遺伝子初期進化の検証」(講演番号:3A1)
山岸明彦(東京薬科大学・生命学部)
- [P149] 「トラフショウジョウバエにおける重複アミラーゼ遺伝子の分子進化」(講演番号:3G2)
猪股伸幸、山崎常行(九大・理院・生物)
- [P150] 「近縁ゲノム比較から見えてくるゲノム再編機構」(講演番号:2B1)
小林一三(東京大学医科学研究所)
- [P151] 「ランダム群集モデルにおける多種共存解と種の豊富さのパターン」(講演番号:3D1)
大阪大学サイバーメディアセンター大規模計算科学研究部門
- [P152] 「変動環境下での保全戦略:最適保全努力と最適調査努力」(講演番号:3D1)
横溝裕行(九州大学大学院理学府生物科学専攻), Patsy Haccou (Leiden University), 巖佐庸(九州大学大学院理学研究院)
- [P153] 「脊椎動物の視細胞の多様化と光情報伝達系タンパク質のアイソフォーム」(講演番号:2G2)
久富修、山本慎太郎、徳永史生(阪大・院理)
- [P154] 「マルチスケールブートストラップ法による系統推定の信頼性評価」(講演番号:3E1)

下平英寿(東京工業大学)

[P155] 「巨大系統樹の推定のために:最節約法に基づくスタイナー樹の高速計算アルゴリズム」(講演番号:3E1)

三中信宏(農環研)

[P156] 「チガヤ2種の共存地域での強い生殖隔離と共存辺縁部での交雑帯形成」

水口亜樹・西脇亜也(宮崎大学農学部)

[P157] 「Evolution of Hox cluster organization in fish」(講演番号:3F2)

Hori H, Kurosawa G, Takahashi M, Takamatsu N, Sanaka E, Sumitomo M, Inokuma R, Tsutsumi M, *Asakawa S, *Shimizu N, #Shin-i T, #Kohara Y (Dept. Biol., Nagoya Univ., *Dept. Mol. Biol., Keio Univ., #Cent. Genet. Res. Info., NIG, Japan)

[P158] 「マルカメムシにおける腸内共生細菌を子に伝えるためのメス特異的器官」

細川貴弘 1、菊池義智 2、孟憲英 1、深津武馬 1(1 産総研・生物機能工学、2 茨城大・理)

[P159] 「エゾヤチネズミ自然集団の DNA 多型解析」(講演番号:3G1)

金子聡子・高橋亮(理化学研究所ゲノム科学総合研究センター個体遺伝情報研究チーム)

[P160] 「重複遺伝子の進化機構」(講演番号:2A3)

牧野能士、鈴木善幸、五條掘孝(遺伝研・生命情報・DDBJ センター)

[P161] 「発生制御関連遺伝子に対するシステム進化生物学的アプローチ」(講演番号:3A2)

荻島創一(東京医科歯科大学大学院システム情報生物学/生命情報学)田中博(東京医科歯科大学大学院システム情報生物学/生命情報学)

[P162] 「雌性先熟・雄性先熟個体をもつオニグルミの繁殖生態」(講演番号:3D2)

木村 恵(東北大・院・農)・陶山 佳久(東北大・院・農)・清和 研二(東北大・院・農)・上野 直人(新潟大・院・自)・後藤 晋(東大・演)・松井 理生(東大・演)・高橋 康夫(東大・演)・Keith Woeste(USDA Forest Service)

[P163] 「遺伝マーカーで探る地史的イベントによる遺伝構造の形成プロセス」(講演番号:3D2)

近藤俊明・井鷲裕司(広島大・院・国際協力)

[P164] 「性フェロモンを介した蛾類の配偶行動システム」(講演番号:3F1)

中 秀司(農環研・昆虫研究グループ)

[P165] 「Evolution Towards Multi-Year Period」(講演番号:3F3)

Masashi Kamo & Akira Sasaki (Department of Biology, Faculty of Science, Kyushu University)

[P167] 「メダカの性的二型の緯度間変異に与える遺伝および環境の影響について」

滝沢壮治・山平寿智(新潟大学大学院自然科学研究科) [P046] から変更

[P169] カイコ(Bombyx mori)で新に確認された MITE 様トランスポゾン Organdy の特性(講演番号:3G4)

行弘研司、河本夏雄(生物研) [P140] から変更